

2026年4月8日

各位

会社名 岡本硝子株式会社  
代表者名 代表取締役会長兼 CEO 岡本 毅  
(コード番号 7746 東証スタンダード)  
問合せ先 財務経理部長 風間 卓  
電 話 04-7137-3111

### 新たな光学系を実現する画期的な新技術の開発について

当社では、LEDからの出射光を高効率で集光できる画期的な新技術を開発しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 新導光体技術について

今回開発した新技術は、LEDから出射する拡散光を、ある角度範囲に高効率で集光させることが可能なガラスデバイス（以下「本デバイス」）に関するもので、いわばLED光をレーザー光の光度まで高めるようなものです。

##### (1) 製法

当社独自の「GI法(ガラスインジェクション法～ガラスの熔融液を金型の中に注入して、3次元形状の製品を精密に成型する当社独自の方法;日本特許登録第6739131号、欧州特許EP3686164B1、中国特許CN111094195B、台湾特許I721368等)」により製造します。

##### (2) 製造設備

2025年4月8日に開示した「世界初の3D・超精密形状ガラス製品製造ラインの試験稼働開始のお知らせ」に記載の3D・超精密形状新型ガラス製品製造ライン(総投資額;7億4480万円)にて製造します。

##### (3) 知的財産権の取得状況及び開示の時機

特許出願及び特許ではカバーできない、又は、書けない部分を補強するために意匠登録も出願しましたが、ここ一年程で公開及び登録が進み(日本特許登録1件、国際特許出願1件、中国特許出願移行1件、米国出願1件、台湾特許登録査定1件、日本意匠登録16件、台湾意匠登録3件、台湾意匠登録査定5件、中国意匠登録4件等)、この度、その概要を開示できるところまで来ました。

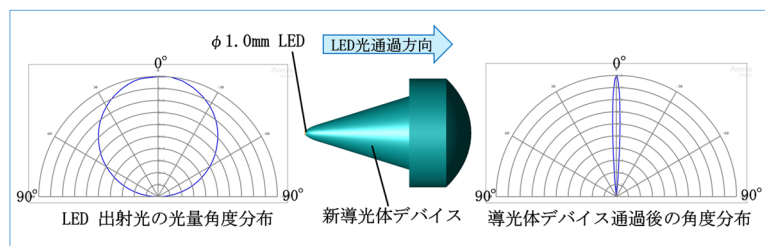
#### 2. 応用分野

LED光源をベースとした照明系を使用する全ての機器、例えば、プロジェクターの照明系、一般照明、舞台照明等、多くの照明機器等に応用が可能であり、これらの機器に本デバイスを使用することで、光利用効率を更に高めることが可能となります。

将来的には、疑似マイクロLEDのような全く新たな光学系への応用が期待できます。



《新導光体デバイス》(一例)



《新導光体デバイス機能》(一例)

なお、本件新技術の2027年3月期の連結業績に与える影響は軽微であります。

以上